

僕の妹

伊勢原市立山王中学校

三年

岩間 いかに

聖之丞 せいのおし

僕には妹がいまゝ。僕の妹は、体を動かすことを好む。人や動物など何に対しても優しくさかあり、足が速く、毎日たくさんのご飯を食べます。ここまで読むと、元気で優しい女の子という印象を持つ人か多いと思います。なので、妹と初めて遊ぶ人は、とても元気な妹を見て驚くとともに、お互いにとっても

楽しく体を動かして遊ぶことができると思いますが。しかし、妹に知的障害があるという事を伝えると、多くの人が元気で優しい女の子という印象から、知的障害を持つ女の子という印象に変わってしまいます。

知的障害を持っていて、ということに分かる。妹に対して優しい口調に変わり、お世話をするようにならざる人。僕は何く見ても、さした。もちろん、妹に対して優しく接してくるのとは、とてもうれしかたです。しかし、妹

を見ると、うれしそうには見えませんでした。
妹は、障害を持っていてという理由で、他の
人よりも優しくさせて、元気に同じ立場で遊
べることができなかつたことか、うれしくない
ことの原因になつた。僕は思いました。なの
で、僕は妹と会う人には、僕から障害を持っ
ていることは伝えずに、元気で優しい女の子
というだけで伝えを伝えることにしました。
すると、前までよりも妹が笑顔で居る時間
が増えたように感じました。しかし、妹に対

して、
こんなことも分からなりのし。
と、言わぬでしまつたのを知つた時は、とて
も心が苦しくなりました。そして、障害を持
つていてることを伝えるべきなのか、そうでな
いのか分からなく、僕の中で葛藤が続きまし
た。そのような時に知つた言葉が、十人十色
しという言葉をしました。そして、この言葉のお
かげで、妹のために僕が取るべき行動が分か
つたと思ひました。

「十人十色」とは、好みや性格、得意、不得意など色々なことは人によってそれぞれ違うという意味です。なので、僕は、球技が苦手だったり、妹は、勉強が苦手だったり、体を動かすことが好きだったり、障害も運動が好きなのも、ご飯をよく食べることも妹の「個性」であるという考えになりました。

なので、妹のように障害を持っていても、特別扱いをするのではなく、「個性」であると考え、他の人と同じように接して欲しいと思います。

そして、障害を持っていてる人、持っていない人、関係なく困っていたら、手助けをしてあげて欲しいです。そうすること、一人でも多くの人が元気に、笑顔で過ごすことができると僕は信じています。そして、障害を持つ人、持っていない人がお互いに信頼し合って、協力することのできる生活を送れることを願っています。そして、妹が障害を持っていても、いなくても、妹は僕の妹です。